

祝 辞

ご紹介に預かりました、本校同窓会のお世話をさせて頂いています露口と申します。

御指名により、本日 新居浜工業高等専門学校を御卒業され、新たな世界の扉を拓かれんとする

卒業生皆さん、並びに御父兄方々に心から御祝い申し上げ、御祝辞を呈します。

卒業生にとっては、喜びとともにキャンパスライフとの別れ、薫陶を頂いた恩師や友人との別離の場でも有ろうかと存じます。

期待と不安、喜びと寂しさ、私も半世紀近くの時を超え、当時を思い起こしています。

卒業生皆さんは本校入学と同時に、新居浜高専同窓会【燧会】の会員になって居られます。

同窓会も本校歴史とともに、多くの会員を迎え

現在、七千余名が各界で活躍されておられます。皆さんが敲こうとする扉の向こうには多くの母校先輩が居ます、新たな進路の先で同窓先輩を訪ねていただき、交流を図って頂ければ必ず良き理解者・支援者となって頂けるでしょう

現在、同窓会は国内外の組織充実を図りつつ、後進への一助、母校発展への一助の務めを果たすべく、同窓ネットワークの拡充に努めています。本日、卒業を迎えられた皆さんも母校の歴史を重ねて行かれます、自身を磨かれながら、

続く後輩への一助の務めを果たされる様、期待します。

また、卒業生には海外留学生もいらっしやいます、母国を離れての勉学への情熱に敬意を表すると共に、貴国発展への貢献を祈念し、

国籍を超えたグローバルな同窓交流の活性化へ支援をお願いします。

祝辞のメにあたり、私の苦い思い出の中にある（ネジ）のお話をお贈りしたいと思えます。

三十年も前の出来事ではありますが、社命で

米国での研修の機会を得ました。

現地エンジニアとの交流の中で、（日本は種々のネジの自国生産が出来るのか？）と問いかけられました。たかがネジ・彼の真意を知ることもなく心に刺さった侮辱の小骨を持ち帰りました。

暫くして、（たかがネジ）の事件に遭遇し、ネジの奥深さに触れます。素材製造から、要求される性能を満たす各種ネジの自国生産が出来る国家は六ヶ国しかない事実を知り、彼の質問の真意の一つを理解し、自身の浅学を恥じました。

工学的好奇心を持って観察すれば、生涯を掛けても達しえない（たかがネジ）に潜むモノ創りの深さと技術に畏怖を覚えます。皆さんが学んだ学識で、ネジの基本原理を理解することは出来ますが、DINにある数円のネジですら、各メーカーは

生き残りの技術を日々磨き、進化している産業の現実があります。換言すれば、産業の力とは幾万のアイテムごとに、日々技術を握り下げるエンジニア集合体の力ともいええます。皆さん個々の進路は違えども、そうした世界に

身を投じる緊張感を持って、新社会の扉を拓いて頂きたいと思えます。

学舎で学んだことは、汎用な基礎理論です。

卒業とともに勉学を終えたのではなく、これから数十年に渡る「強く生きるための勉学」の

始まりとして研鑽を怠らず、将来のライバルであろう国内外の若きエンジニアを意識し、グローバル意識を高め、語学研鑽も怠りなく努めて頂きます様お願い致します。

自省もって祝辞の付言とさせて頂きました。

皆さんの未来が充実した素晴らしい時間で有ります様、祈念申し上げ祝辞を込ませて頂きます。

平成二十七年三月十六日

新居浜工業高等専門学校 同窓会

燧会会長

露口省二

*御卒業おめでとうございます。